

備える!

風水害編

風水害のことを知っておこう!

台風や集中豪雨などによってもたらされる災害が、風水害です。毎年、いくつもの台風が接近・上陸する日本では、これまで多くの風水害に見舞われてきましたが、近年では記録的な大雨や局地的な集中豪雨の多発で、過去の教訓を生かしきれない想定外の事態も相次いでいます。まずはその恐ろしさも含めて、風水害としっかり向き合うことが危機回避の第一歩です。

風水害の恐れがある時

気象庁では、大雨などの現象に応じて、段階的な気象情報を発表して注意や警戒を呼びかけています。また平成25年8月30日から、重大な災害発生の危険性を確実に伝えるための「特別警報」がスタート。警戒をはるかに超える数十年に一度の大災害が起これると予想される場合に発表し、住民に最大限の警戒を促します。最新の情報入手に努め、注意・警戒を心がけましょう。

注意報	警報	土砂災害警戒情報	記録的短時間大雨情報	特別警報
大雨や強風などによって、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。	重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。危険な場所には近づかず、避難指示が出た場合は、すみやかに避難します。	大雨警報(土砂災害)等が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに発表されます。	大雨警報(浸水害)等が発表されている状況で、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨を観測したときに発表されます。	重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表されます。未だ経験のない異常な現象が起こりそうな状況であり、ただちに命を守る行動をとります。

台風の風水害

Q 岡崎市の気象区分は?

A 岡崎市の気象区分は、「愛知県全域」、一次細分「愛知県西部」、二次細分「岡崎市」です。

※市町村単位で発表されますが、発表の区分が広い場合は市町村等をまとめた地域名の「西三河南部」で発表されることもあります。



Q 集中豪雨が発生しやすいのはどんなときですか?

A せまい地域で集中的に、短時間で大量の雨が降る現象を「集中豪雨」と呼びます。これは暖かく、たっぷり水蒸気を含んだ空気が一定方向から長く吹き続けることで起こるもので、特に日本付近に前線が停滞している時や台風が日本へ上陸、あるいは近づいている時などに発生します。また、線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な災害が生じています。「顕著な大雨に関する情報」は、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報であり、「警戒レベル4」相当以上の状況で発表します。

Q 集中豪雨がもたらす災害とは?

A 台風による水害と同様、河川のはん濫や道路の冠水、家屋の浸水のほか、土砂災害が発生します。都市部では雨水が、地下街や地下室へ流れ込んだり、排水溝や下水道をあふれさせ、水のたまった地下道では自動車の水没などの被害を受けます。

備える!風水害編 風水害のことを知っておこう!

土砂災害

Q 土砂災害とは？

A 「土砂災害防止法」に基づき、愛知県が「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。市内の土砂災害は、「がけ崩れ(斜面崩壊)」、「土石流」、「地すべり」の3つが想定されます。

○これらの被害のおそれのある区域を「土砂災害警戒区域」に指定します。

○土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危険が生じるおそれがある区域を「土砂災害特別警戒区域」に指定します。

※防災ガイドブック地図編には、愛知県が調査した箇所を掲載していますが、地図に示されていない場所でも土砂災害が発生する可能性があり、注意が必要です。

土砂災害警戒区域

災害情報の伝達や避難が早くできるように、岡崎市では警戒避難体制の整備を進めています。

大雨が降って土砂災害の発生が予測される場合などは、早めに避難しましょう。

土砂災害特別警戒区域

- 特定の開発行為には許可が必要です
住宅宅地分譲や災害時要援護者関連施設(社会福祉施設や医療施設など)の建築等を行う場合の開発行為には、安全確保のための許可が必要になります。
- 住宅の建築には建築確認・構造規制が適用されます
土石等が到達し、住宅に作用すると想定される力に対し、住宅建築物の構造が安全であるかどうかの建築確認が必要になります。
- 建築物の移転等の勧告が図られます
著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対して、県が建物の移転等を勧告することがあります。移転される方には、融資などの支援措置があります。

Q 土砂災害はどうやって起こるの？

A 台風や集中豪雨などによる大雨のほか、地震によって地盤がゆるむと、山やがけが崩れたり、川や沢などの土砂や岩石が下流へ押し出されます。地質の弱い山間部や山崩れによる土石流が直撃しやすい扇状地、地盤がゆるみやすい造成地などで発生しやすく注意が必要です。

がけ崩れ

大雨の影響で、山の斜面の土の抵抗力が弱まり、突然崩れ落ちる現象です。国内でもっとも発生件数の多い土砂災害。



土石流

大雨により、山腹、川底の石や土砂が一気に下流へ押し出されるものです。時速20~40kmと流れも速く、人的被害も甚大です。



地すべり

梅雨や台風などの豪雨により、地面がひび割れ、斜面の一部あるいは全部がゆっくりと下方に動きだす現象です。



Q 岡崎市の土砂災害警戒区域等の指定状況は？

A 愛知県公式WEBページ「マップあいち」土砂災害情報マップから最新の情報が確認できます。マップあいち <https://maps.pref.aichi.jp/>

※岡崎市土砂災害ハザードマップを市役所で配布しています。また、岡崎市HPでも確認できます。岡崎市役所西庁舎3階:河川課



マップあいち 岡崎市HP

Q 土砂災害から身を守るためには

A 土砂災害が発生する際、次のような兆候が見られるといわれています。危険信号を感じ取ったら一刻も早く避難してください。

がけ崩れ	・小石がパラパラと落ちてくる・斜面から水が噴き出す・斜面にひび割れができる
土石流	・山鳴りがする・雨が降り続けているのに川の水位が下がる・川の流れが濁り、流木が混じりはじめる
地すべり	・地面にひび割れができる・沢や井戸の水が濁る・池や沼の水の量が急に化する